

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	nicolabo		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 2日 ～ 2024年 8月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2024年 8月 2日 ～ 2024年 8月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容が固定化しておらず、レクリエーションやSST、電車乗車体験、買い物活動など様々な分野の支援を取り入れている。	毎日来所する子どもも多いので飽きないように毎日違う活動を設定し、いつ来ても楽しいと思えることを大切にしています。また、保護者ニーズと日々の子どもの様子から支援に繋がれるように活動内容を考えたり、「子ども会議」を開催し、利用する子どもたちからも意見を取り入れ、職員間のアイデアも交えながら決定していきます。	どの年齢の子どもにも寄り添った支援ができるように職員の知識を深めたり、情報を共有しながら幅広い支援を取り入れていきたいです。
2	Instagramの更新や定期的なおたよりを配布し、支援の見える化を心掛けている。	活動中の様子を写真におさめ、SNSやおたよりで発信しています。写真を実際に見てもらう機会もあるためどんな様子で活動に参加しているか分かりやすくなっています。	参観等で保護者の方に日々の活動を見てもらえる機会を設けていきます。
3	季節に応じた行事が多い。	ほぼ毎月で行事を設定しているため、季節に応じた活動に触れられたり、楽しみにしながら通所できます。お化け屋敷や夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会など毎年違う内容で楽しめるように職員全体でアイデアを出し合い行っています。	子どもの意見も取り入れながら行事や内容を決定し楽しんで通所できる活動を取り入れていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながりや交流が少なく十分に実施できていない。	情報収集がうまくいっておらず地域とつながれる場やイベントへの参加が少なくなっています。	地域のイベントへの積極的な参加や、事業所内での行事に地域の方を招待するなど活動の幅を広げていきます。
2	保護者同士の交流の場やきょうだいが参加できる場が実施できていない。	以前は行っていましたが参加人数の減少や固定化になってしまったので反省点を共有し改善し実施に繋がれるようにしていく必要がありました。また、保護者の方に要望を聞く機会をもっと増やしたいと感じています。	前回までの反省や評価を職員間で話し合い、交流の場やきょうだいを交流を取り入れていきたいです。まずは保護者の方の要望を聞き入れ取り入れられる機会を取ることに努めています。
3	進学への的確な助言や情報提供が少ない。	進学の際に支援学校や地域の小学校に関する情報を求める保護者の方が多い中、現状や通われている方の実際の声を届けることが不十分となっています。地域との連携が少なかったり、学校の先生との連携不足だと感じています。	現状を伝えたり実際の声を聞けるように保護者交流会や悩みを話せる場を設け、職員も一緒に学んだり情報収集をしています。また、地域との交流を持ち、先生とのつながりができるように努めていきたいです。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 nicolabo

公表日 2024年 9月 30日

利用児童数 2024年 8月 2日 回収数 6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3		1	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5			1		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1		4	1	・今後活動機会が増えるようにしている努力が活動内容から見えている。 ・なくても活動への満足度が高いです。	地域との交流が増えるように地域行事の参加を積極的に行っています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	1	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5		1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1	3		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1		1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
n i c o l a b o		2024年 9月 30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		人数が多い場合は1階と2階を利用し十分なスペース確保に努めている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	利用人数にあった職員配置を行っている。また、個別対応もできている。	個別対応が必要な児童の利用が多い場合に活動によっては集団ではなく少人数で行える配慮が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		ロッカーや靴を置く場所が文字だけでなくイラストでも表示されていてわかりやすい。様々な年代の子どもが快適に使えるように手洗い場等にステップチェアを完備している。玄関、階段前には柵を設置し安全に考慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の清掃を行っている。玩具や学習で使用するものの置き場が決まっていいつでも取り出しやすくなっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		学習や製作で集中できるように1階と2階で分かれて活動できるようになっている。また、静養室としても活用しゆっくりと過ごしたいこどもが利用もしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		朝礼、終礼、事業者内会議で話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		集計結果をもとにすぐに改善できることは周知され、改善に繋げている。保護者の意向は周知され全体で把握している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		個別支援計画案会議や事業所内会議で意見交換や案の出しあいをして改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		第三者評価を用いて外部評価を行った実績がある。結果は周知され改善できる点は意見を出し合い改善に繋げている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		全体で参加する研修も多く、学ぶ機会を設けている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		毎日の活動内容を事前に周知しねらいや役割を伝えている。職員間では支援が円滑に行われるように連携を取り工夫している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		6ヶ月以内に1回面談が行われ、ニーズを細やかに聞き取り個別支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援計画の作成にあたり、会議を行い職員の意見を取り入れながら検討している。保護者面談の内容は職員に周知している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		会議の中で共有をしている。全職員がそれぞれの支援方法を把握できるように繰り返し周知している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		個別支援計画書には明確な支援内容が示されている。また、家族支援や移行支援についても会議の中で話し合い、共通認識している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	子どもや保護者のニーズを踏まえて立案している。	正職員が主に立案しているが、非常勤職員も積極的に案を出していきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		様々な分野の活動を取り入れ固定化しないように努めている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		行事前には職員で打ち合わせ会議を行っている。毎日の朝礼では役割や活動の流れを細やかに周知し連携した支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		その日のリーダーを中心に振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		活動の参加人数やそれぞれの特性に応じて個別、集団活動を設定している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		必ず面談を行い、デイでの様子、ニーズを話し合い計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		情報共有をしたり繋がりをもっているが連携した支援に繋がっていない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		移行に向け相談を受けたり、情報提供を行っている。保育所等と連携を取り、様子を見に行かせてもらい、見に来てもらう機会を持つなど相互理解に努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		移行の際には担当者会議等を開催の希望を相談支援員や就学先に伝え支援内容を伝える機会取っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	4	研修に前向きに参加している。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	近隣公園で地域の子どもを交えて遊びを提案し関わる機会を持つことがある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		定期的な面談や毎日の送迎時に子どもの状況や課題について話す機会をとっている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		今後研修や幅広い情報提供をしていきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約、面談時、質問があった際には詳しく伝え理解を得ている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		定期的な面談を行い、家族や子どもの思いやニーズを聞き取っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		児童発達支援管理責任者により説明を行い同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	面談や聞き取りを行っている。	情報収集が少なく十分な助言を行えていない。その都度ニーズに合った情報を提供していきたい。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		要望があれば支援体制を取っていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	2	連携がうまくいかず問題解決に時間がかかることもあるが朝礼、終礼で申し送り事項を周知したり管理者の指示のもと対応をしている。	職員間での報告や相談を細やかにし、迅速な対応に努めていきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		定期的なおたよりを配布、InstagramやHPを利用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報は厳重に保管されている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		伝えやすい表現方法や連絡方法を用いてやりとりしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		現在地域の方を交えて活動を行っていないので今後体制を整えていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		契約時に説明を行い周知している。また定期的に研修や訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		災害に備え、避難方法や避難経路を明確にし訓練を行っている。また、非常時持ち出し袋を常設している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		必ず聞き取りを行い、全体周知をしている。服薬が必要な場合には投薬依頼書を記入、持参してもらっている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		医師からの指示を保護者より聞き取り対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		知識を習得できるように研修の参加をしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全確保のためのマニュアルを作成し周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット報告書を用いて会議で周知、改善策に対しての話し合いを行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		全職員で研修の参加を行い、虐待防止のために職員向けにアンケートの実施も行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		現在該当される事案はないが、知識を得るために身体拘束について研修や事業者内研修で学んでいる。	